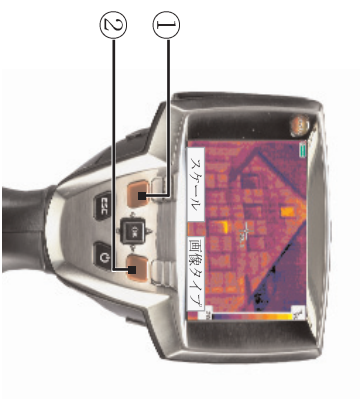


フアンクションキーを使用する

フアンクションキーは、使用頻度の高い機能を割り当て、直接呼出せるようにしたものです。

工場出荷時の設定:

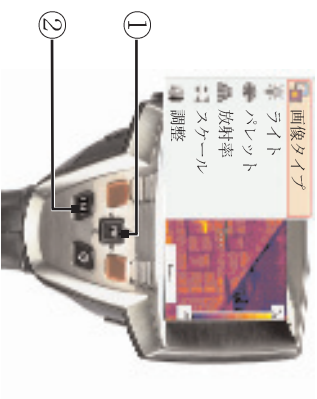
- > 左側のフアンクションキー①:
スケール
- > 右側のフアンクションキー②:
画像タイプ



フアンクションキーを変更する

左右にあるフアンクションキーの機能割当てを変更:

- 1 呼出し: **ジョイスティック**①を左もしくは右に動かします。
- 2 選択: **ジョイスティック**を上下に動かします。
- 3 決定: **[OK]**①キーを押します。
または
キャンセル: **[Esc]**②キーを押します。



Contact

株式会社 テスト
Testo K.K.

本社営業部

〒222-0033

横浜市新横浜2-2-15 パレアナビル7F

Tel. : 045-476-2288

Fax : 045-476-2277

大阪営業所

〒530-0055

大阪市北区野崎町7-8 梅田パークビル9F

Tel. : 06-6314-3180

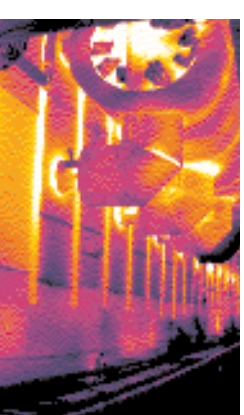
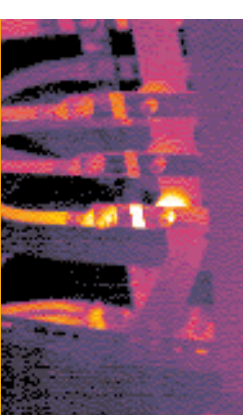
Fax : 06-6314-3187

0970 8824.jp 01 V01.00

testo 882・赤外線サーモグラフィ

簡易マニュアル

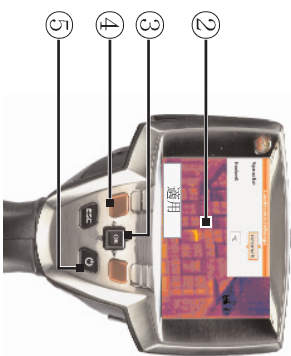
jp



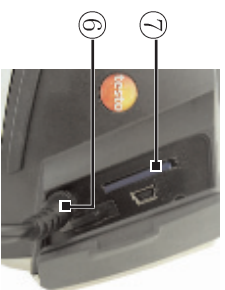
測定の準備



- 1 サーマゾグラフィのハンドル底部のスロットに完全に収まるまで、**充電式バッテリー**①を充分押し込みます。
- サーマゾグラフィが自動的に起動します。
- 2 **ディスプレイ**②に貼られている保護フィルムをはがしてください。
- 言語および**温度単位**の設定を行いません。

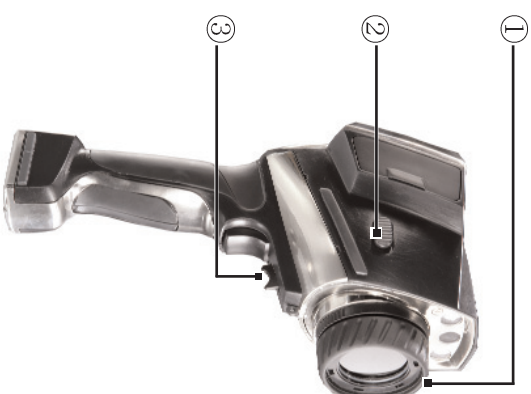


- 3 **ジョイスティック**③を上下に動かし、希望のオプションを選択します。
- 4 **[OK]**③キーを押します。
- 5 **ジョイスティック**③を上下に動かし、設定を変更します。
- 6 **[OK]**③キーを押します。
- 7 **[適用]**④キーを押して選択を確定します。
- 8 **[⏻]**⑤キーを押して、サーモグラフィの電源を切ります。
- 9 ACアダプタの接続プラグを**ソケット**(⑥)に接続します。
- 10 バッテリを充電します。(約3時間)
- 11 **SDメモリーカード**をカードスロット(⑦)に挿入します。
- これでサーモグラフィは使用できる状態になりました。



電源オン/オフ

- > レンズから**保護キャップ**①を取り外します。
- > 電源キー**[⏻]**②を押します。
- 約40秒のスタートアップが終了すると、測定画面が表示されます。
- 約60秒毎にサーモグラフィの内部調整が自動で行われます。このときカチャといくクリック音が聞こえ、一時的に熱画像がフリーズします。
- > 電源の切断: 電源キー**[⏻]**②を押します。



ピントを合わせる

パワーフォーカスでピントを合わせる

- 1 パワーフォーカスを起動: **フォーカス スイッチ**②をディスプレイ側のパワーフォーカス(8)に切り替え。
- 2 ピント合わせ: 画像のピントが合うまで、**パワーフォーカスコンローラ**③を動かします。

マニュアルフォーカスでピントを合わせる

⚠ 注意!

マニュアル (手動) でピントを合わせる場合は、パワーフォーカス機構の損傷を防止するため、必ずパワーカス スイッチ②をマニュアルにしてください。

> パワーフォーカスを終了: フォーカス スイッチ②をマニュアル(8)に切り替え。

画像を保存する

- 1 画像をホール: **トリガー**②を引きます。
- 2 画像を保存: **トリガー**②を再度引きます。
または
キヤンセル: **[Esc]**①キーを押します。



メニュー操作をする

- 1 メニューを開く: **[OK]**①キーを押します。
- 2 メニューの選択: **ジョイスティック**①を上下に動かします。
- 3 サブメニューを開く (▼マークが付いているメニュー項目): **ジョイスティック**を右に動かします。
- 4 メニューを呼出す: **[OK]**キーを押します。
または
測定モードに戻る: **[Esc]**②キーを押します。

